

【愛知県小学生友の会ルール（競技規則）について】

友の会競技規則は、日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、小学生であることを考慮して「友の会ルール」を適応する
尚、愛知陸協及び県内地区陸協の大会で使用するルールである

「友の会ルール」

<アスリートビブス>

- ①トラック競技・フィールド競技の全種目、胸と背に確実につける

<スタート>

- ①スパイクシューズの使用はできるが、裸足での競技は禁止する
- ②スタートの合図はイングリッシュコールで行う（「オンユアマークス」「セット」）
- ③スタートの方法はクラウチングスタートとする（スターティングブロックは使用しなくてもよい）
- ④不正出発は同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者は失格となる
但し、失格者はオープン参加で走ることができる（大会により定めること）

<80mハードル>

- ①ハードルの高さ 5・6年生＝70cm 4年生＝60cm
- ②ハードルの台数 9台
- ③ハードルの距離 スタートラインから第1ハードルまで13m
ハードル間7m
最終ハードルからフィニッシュラインまで11m

<混合リレー>

- ①男女各3名以内で編成し、オーダーは男女各2名ずつとし、走順はフリーとする
- ②6年生リレーは6・5年生、5年生リレーは5・4年生、4年生リレーは4年生のみで編成する

<走高跳>

- ①はさみ跳びとする
- ②脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする
- ③試技は3回続けて失敗した時点で終了（コンバインドA・走高跳は2回続けて失敗した時点で失格）
- ④大会により、ジャンプオフ（第1位決定戦）を行うことは可能とする

<走幅跳>

- ①試技は3回以内とする（コンバインドB・走幅跳の試技は2回）
- ②6・5年生は大会によりベスト8を行うことは可能とする

<ジャベリックボール投>

- ①助走距離は15m以内とする
- ②試技は3回以内とする（コンバインドB・ジャベリックボール投の試技は2回）
- ③競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボール先端に付け、手のひらで包むように握り、オーバーハンドスローで投げる
- ④羽だけを持って投げることは禁止する
- ⑤回転投げは禁止する
- ⑥やり投競技に準ずるが、距離の測定は器具が地面に触れた時点から計測する（複数面が同時に着地した場合は最短距離を測定）
- ⑦器具は、ジャベボール（NT5201＝ニシスポーツ）を使用する

<コンバインドA・B>

- ①コンバインドA＝80mH＋走高跳
コンバインドB＝走幅跳＋ジャベリックボール投げ
- ②競技順序は定めない
- ③各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表』を使用する（男女とも同一の得点表）
（『JAAF 小学生混成競技得点表』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開）
- ④合計得点が同点の場合は同順位とする
- ⑤80mHと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない
- ⑥スタートまたは試技を行い、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）および参考記録（80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録）の場合、得点は0点とする
- ⑦1種目目に出場し、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする
- ⑧1種目目で欠場した（スタートまたは試技を行わない）競技者は、2種目目には出場できない
- ⑨1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）失格（DG）、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる
- ⑩走幅跳・ジャベリックボール投げの試技は2回、走高跳は2回続けて失敗した時点で終了する
- ⑪各種目の競技ルールは、友の会ルールに準ずる